

白石の農×育てる人

～農家の輝く姿を情報発信！～

2カ月に1回、白石のすてきな農家さんを紹介し、私たちの身近にある「農業」の情報を楽しくお届けします。

今回は、病虫害や地球温暖化など厳しい条件の中、工夫を凝らし「果物」を栽培している鑑水優さんと八嶋洋子さんに話を伺いました。



☎農林課 ☎22-1253

白石で前例の少ない作物の栽培に挑戦しています！



やりみず まさる
鑑水 優さん

優さんは、会社員として働きながら農家の父を手伝い、農業に携わってきました。65歳で専業農家となり、できる「だろう」の精神で試行錯誤を繰り返しながら、本市で前例の少ない作物の栽培に取り組んでいます。その中でも、優さんが作るレモンは大きな実が特徴です。

本市はレモンが育つ温暖な環境ではないことから、春に霜が降るため、ビニールハウスで栽培し、さらに防寒用のシート3枚をレモンの樹にかぶせることで、大きな実に育てています。

優さんは「次は食用花に挑戦したい！」と今後の抱負を話してくれました。



▲収穫時には1キロを超えるものも！

支える立場から生産する立場に

洋子さんは、農家の長女として両親の農地を守りながら、JA女性部の宮城県会長を務めてきました。現在は「支える立場から生産する立場に」の精神で、園芸農業を中心に活動し、本市では珍しいブルーベリーを100本以上栽培しています。

ブルーベリーは、弱アルカリ性の土壌を好む一般的な野菜や果樹とは違い、水はけがよい酸性の土壌でないと育たない果物です。洋子さんは水はけを考え、あえて斜面で栽培し、酸性土を入れるなど、生育環境を整えています。さらに、さまざまなブルーベリーの品種を有機栽培することで、長期的なブルーベリーの出荷や環境にやさしい農業を展開しています。

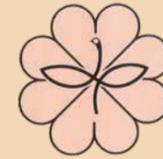


▲たくさんの実がなるブルーベリーを一つ一つ手作業で採集しています

生産者としても農業を盛り上げる洋子さんをこれからも応援していきます。



やしま ようこ
八嶋 洋子さん



民生委員・児童委員のマーク

知っていますか地域の身近な相談相手

民生委員・児童委員

☎福祉課 ☎22-1400

小原地区民生委員児童委員協議会の紹介

小原地区では、高橋会長を筆頭に民生委員・児童委員7人、主任児童委員2人の総勢9人で活動を行っています。毎月定例会を開催し、活動の計画、実施、検証や地域での活動報告を行い、積極的に研修会などへ参加しています。

また、小原地区内の小、中学校は県内でも珍しい、学区外に住んでいる児童・生徒を受け入れられる小規模特認校（小原学園）となっています。通っている児童・生徒との交流を行っていますが、小原地域の特色を生かせる交流ができるよう、民生委員・児童委員や地域の方々と知恵を出し合いながら行っています。

令和6年度重点目標

1. 地域のつながり強化支援活動
2. 子育て・児童生徒・青少年の健全育成
3. 災害時スムーズな支援活動を図れるよう、各種団体との連携強化



会長よりひとこと

主な活動の紹介

小久保平サロン「行ってみっ会」

小久保平地区の高齢者の皆さんと、小原地区民児協の委員がサロン活動（茶話会）を通じて一人暮らしなどの高齢者の生活に楽しみと元気を提供しています。一人暮らしなどの高齢者との交流を図り、不安などの相談にも対応しています。

7月に開催したときには、地域の方7人、民生委員・児童委員7人、参観者2人が参加し、お茶を飲みながら「手遊び」や「黒ひげ危機一髪」などのゲームを行いました。なんと一芸披露（唄や小話）の罰ゲームがあるため、毎回とても盛り上がります。

☆過去に行ったサロンの紹介

- ①令和4年、元高校教諭ら2人による「青空ミニコンサート」を開催し、参加された皆さんは大喜びの大変楽しい時間を過ごしました。
- ②サロン開催時に、自治会長が自宅で収穫した竹の子で「竹の子ご飯」を参加者全員に振る舞いました。



小原地区民生委員児童委員協議会
たかはし
高橋 いく子 会長

「行ってみっ会」には地域のつながりを深め、情報交換やふれあいの場として、こじんまりとした親しみのもてる雰囲気があります。

日頃、静かに過ごされている地区の皆さまですが、「サロンの日は大きな声を出してたくさん笑って楽しみましょう」を合言葉に開催しています。今後も頑張っって継続できるようにしていきたいです。



▲手遊び風景



▲黒ひげ危機一髪に挑戦中